



▲多くの人でにぎわう、いろり火の里わんぱく広場
アクセスの良さから、近隣市町からの利用者も多い

②安心して遊べる環境
「子育て交流施設テオトル」
2つ目は、子どもがのびのびと安心して遊べる環境です。大型遊具がある子育て交流施設テオトルや、いろり火の里わんぱく広場は、町内外の親子でにぎわっています。
特に、子育て交流施設テオトル内には、子育て支援センターを設置しており、子育て相談や各種イベントが開催され、安心して楽しく利用することができ、多くの方に喜ばれています。



子育てするなら 三川町！ ～東北屈指の 合計特殊出生率～



▲町の子育て支援情報をまとめたチラシはこちら



▲7カ月児育児相談での積み木プレゼントは町ならではの

令和2年に公表された国の人口動態統計特殊報告によると、平成25年～29年の本町の合計特殊出生率(1人の女性が一生に産む子どもの推定数)は1.73で、県内で1番、東北では3番目の高さです。
ここでは、東北屈指の合計特殊出生率(以下、「出生率」)を支える3つの要素と、本町で子育てをする方の声を紹介いたします。
①妊娠・出産・子育てを支える「母子保健事業」
1つ目は、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援です。町では、母子健康包括支援センターを設置し、相談対応や、さまざまな支援事業を行っています。

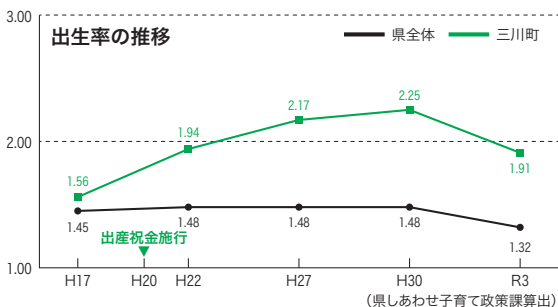
テオトル利用者の声

安心して遊べる住みやさ
子どもが生まれる前から三川町に住み始めました。近隣のアクセスが良く、とても住みやすいと感じます。また、子どもが安心して遊べる場所があるのはありがたい、仕事が休みの時は、子どもと一緒にテオトルを利用しています。

親子で楽しめました
親子リトミックに参加しました。子どもは、手でおもちゃをつかむ遊びが楽しそうでした。親子でピアノに合わせて運動をして、母も子どもとも癒されました。

中村あおくん 親子 (横山中)

廣井りくちゃん 親子 (横山下)



③お子さんの誕生をお祝い「出産祝金」
3つ目は、出産祝金です。要件を満たす方の出産に際して町では、お子さんの誕生を祝福するとともに、その健やかな成長を願い、出産祝金を支給しています。
町民からは、お子さんの誕生を喜ぶ声とともに、出産祝金を喜んでいただけている声が聞かれます。

ほかに、本町の立地条件の良さから住宅地の造成が相次いだこと、「地域で子どもを育てる」という住民意識が高まっていることなど、さまざまな要因が出生率に関係していると思われます。
町では、これからも、こういった特長を生かしながら、より多くの方に「三川町に住んで良かった、三川町で生んでよかった」と思ってもらえるよう、子育て支援に力を入れていきます。



町民の声
● 育児で収入が減る中、祝金はどううれしかったです。
● 育児の出費は予想以上で、祝金ももらえて喜んでいます。
● 三川町に住む理由の一つになりました。

利用者の声

● まるまる抱っこの方法をパパにも教えたいと思いました。
● 体操をして体がかるくなったのが分かりました。

プレママからの骨盤ケアとまるまる育児講座
骨盤の正しいケアや赤ちゃんの大事な首や背中を守る、まるまる抱っこの方法を学ぶことができます。

足指先の体操による骨盤ケア

特に、赤ちゃんとお過ごす時間をより幸せに、より楽しくしていただくために行っている、産前・産後サポート事業は好評をいただいております。その事業の一部と参加者の声を紹介いたします。

母乳ミルク相談会

● 初めての育児で分からないことばかりの中、母乳相談ができて気持ちが楽になりました。
● 助産師さんのケアが受けられてとても助かりました。これからは母乳育児をがんばってみようと思っています。

ほかに、ベビーマツサージ、ベビーヨガ・ママヨガ、ママのお茶会があります。ママだけでなくパパも参加できますので、ぜひご参加ください。

産前・産後サポート事業の詳細は、町ホームページからご確認ください。